

資料 7

5. 施策の内容

目標 I 言葉の壁を乗り越えるまち

言葉や文化等の違いにより、住民相互のコミュニケーションが円滑に行われず、必要な情報が適切に伝わらないことがあります。このため、各種情報の多言語での提供や、やさしい日本語の活用、日本語を学ぶ機会の充実など、コミュニケーションを促進するための取組が必要です。



基本方針① 行政・生活情報の多言語化

(1) 公共施設のサインや行政・生活情報の多言語化

施策	内容	具体的方策
公共施設のサイン多言語化	市有施設のサインについて、多言語表記を進めます。	市有施設のサインについて、多言語表記を進めます。
行政・生活情報の多言語化	行政・生活情報が適切に伝わるよう行政文書等の多言語化を行います。	行政文書の多言語化やSNS等での多言語化情報の発信を行います。